



# 建設分野の職域代表が果たす 「建設産業新3K」に向けた役割

足立としゆき事務所作成

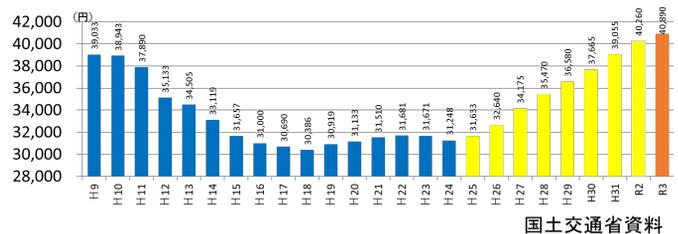
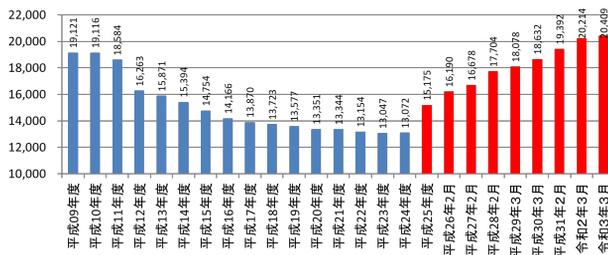
## ○給料がいい

### ～ 設計労務単価のアップ ～

- ・ **公共事業予算の確保**  
H24年が最少の4.6兆円だったが、その後アベノミクスで6兆円を確保  
R3年は7.7兆円、R4も岸田内閣による補正予算によって同程度を確保  
→ ※R5年以降の公共事業予算確保が必要
- ・ R1年の改正品確法による給与面の改善  
適正な予定価格の設定、設計変更の徹底を発注者に義務付け  
下請け契約の適正化を明記
- ・ 国土交通省が定める設計労務単価をH24年以降9年連続でアップ  
→ ※岸田内閣の令和版所得倍増に基づき、賃金アップを継続することが必要

公共工事設計労務単価の全国全職種平均単価の推移

設計業務委託等技術者単価 全職種単純平均値の推移



国土交通省資料

## ○休暇が取れる

### ～ R1年の改正品確法による長時間労働の是正 ～

- ・ 準備時間・天候等を考慮した**適正な工期の設定**を発注者に義務付け
- ・ **施工時期の平準化**に向けて、債務負担行為や繰越制度の活用、翌年度にわたる工期の設定、設計変更に伴い工期が翌年にわたる場合の**繰越の活用等**を発注者に義務付け
- ・ **適正な工期での下請契約**の締結を発注者に義務付け。  
→ ※週休2日の工事費への転嫁が必要

## ○希望が持てる

### ～ やりがいのあるプロジェクトの創出 ～

- ・ 地球温暖化に伴う**気候変動に対応した流域治水プロジェクト**の創出
- ・ 生産性を高めるための高速道路・新幹線など**交通物流ネットワーク**の整備
- ・ **防災・減災、国土強靱化のためのプロジェクト**の洗い出し  
→ ※ピックアップに基づくプロジェクトの計画的必要